

【活用にあたって】

「ことわざ」とは古くから世間で言いならわされてきた生活上の知恵や教訓が込められた言葉です。それについて理解を深めることが単元のねらいだと考え、発展問題がメインとなるでしょう。それでも玄侑さんが講演された「しあわせ」という言葉の変遷は、「ことわざ」の学習を深めるには大いに役立つと考え、発問は記事を読み進めながら取り組めるように設定しました。

「ことわざ」は適切に使うことで表現の幅が広がりますが最近では誤用も目立つようです。自分の表現したいことに誤解を招かないためにも、こうした記事にふれた際に正しく使えているかを確認するとよいと思います。

解答例

問1：奈良時代[為合]室町時代[仕合]明治時代以降[幸福]

問2：あくまで[仕合わせる]であるから[相手の出方]が先にある

問3：相手の出方にどう対応できるかという対応力

発展：善は急げ ←→ 急がば回れ

うそつきは泥棒の始まり ←→ うそも方便

立つ鳥跡を濁さず ←→ 旅の恥はかき捨て

二兎を追う者は一兎をも得ず ←→ 一石二鳥

例：好きこそものの上手なれ ←→ 下手の横好き